

中央教育審議会

生涯学習分科会社会教育人材部会

# 島根県社会教育実践

～地域を担う人づくり～

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる

**島根\*創生**  
SHIMANE SOUSEI

■島根県教育委員会 教育長 野津 建二

■期日：令和6年1月19日



◆19市町村（8市10町1村）

◆人口 648,249人（R5.12.1 人口推計）

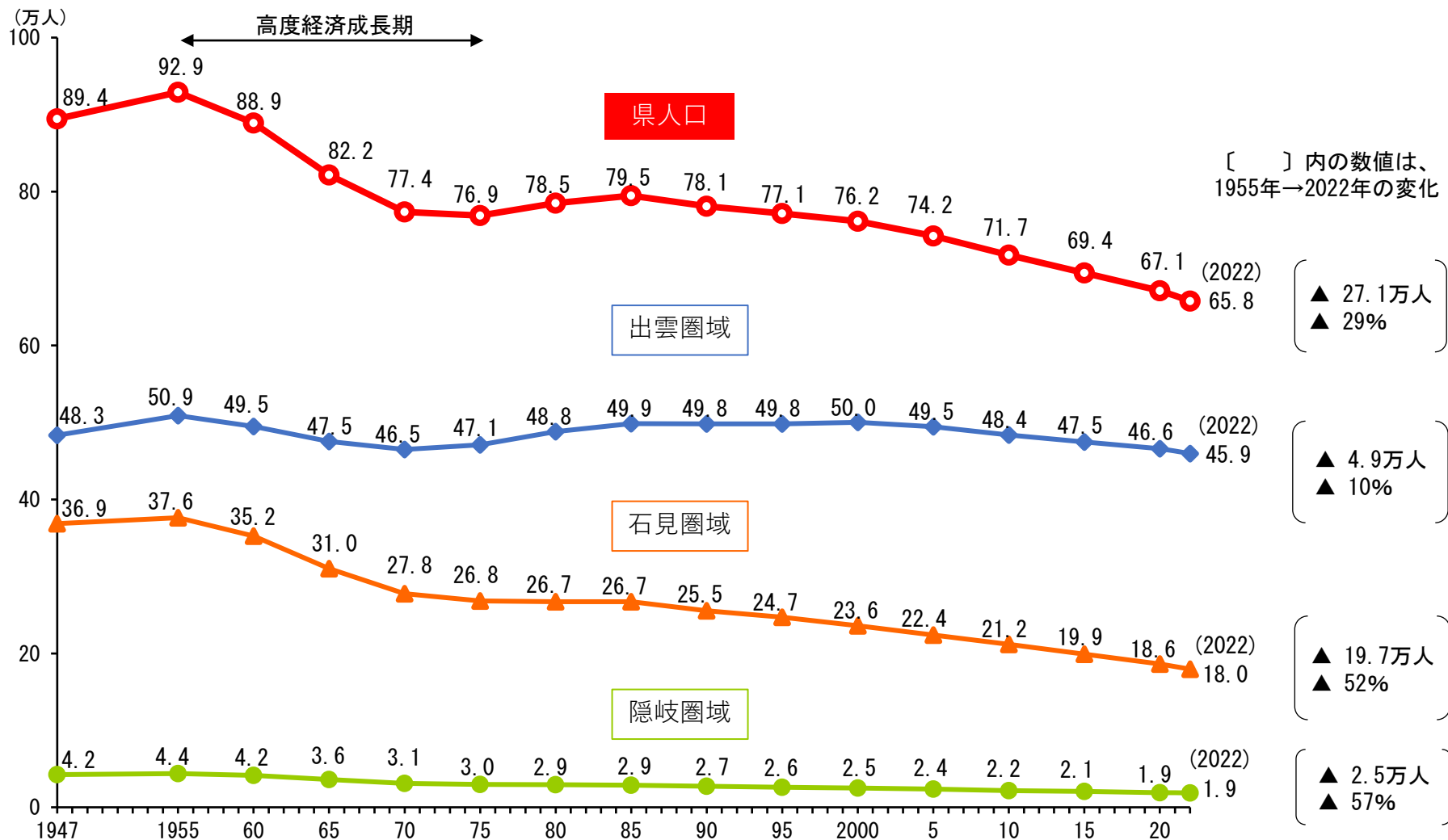
※H27年度国勢調査 694,352人（H27.10.1）

※R2年度国勢調査 671,126人（R2.10.1）

⇒ H27年度との比較 23,226人の減少

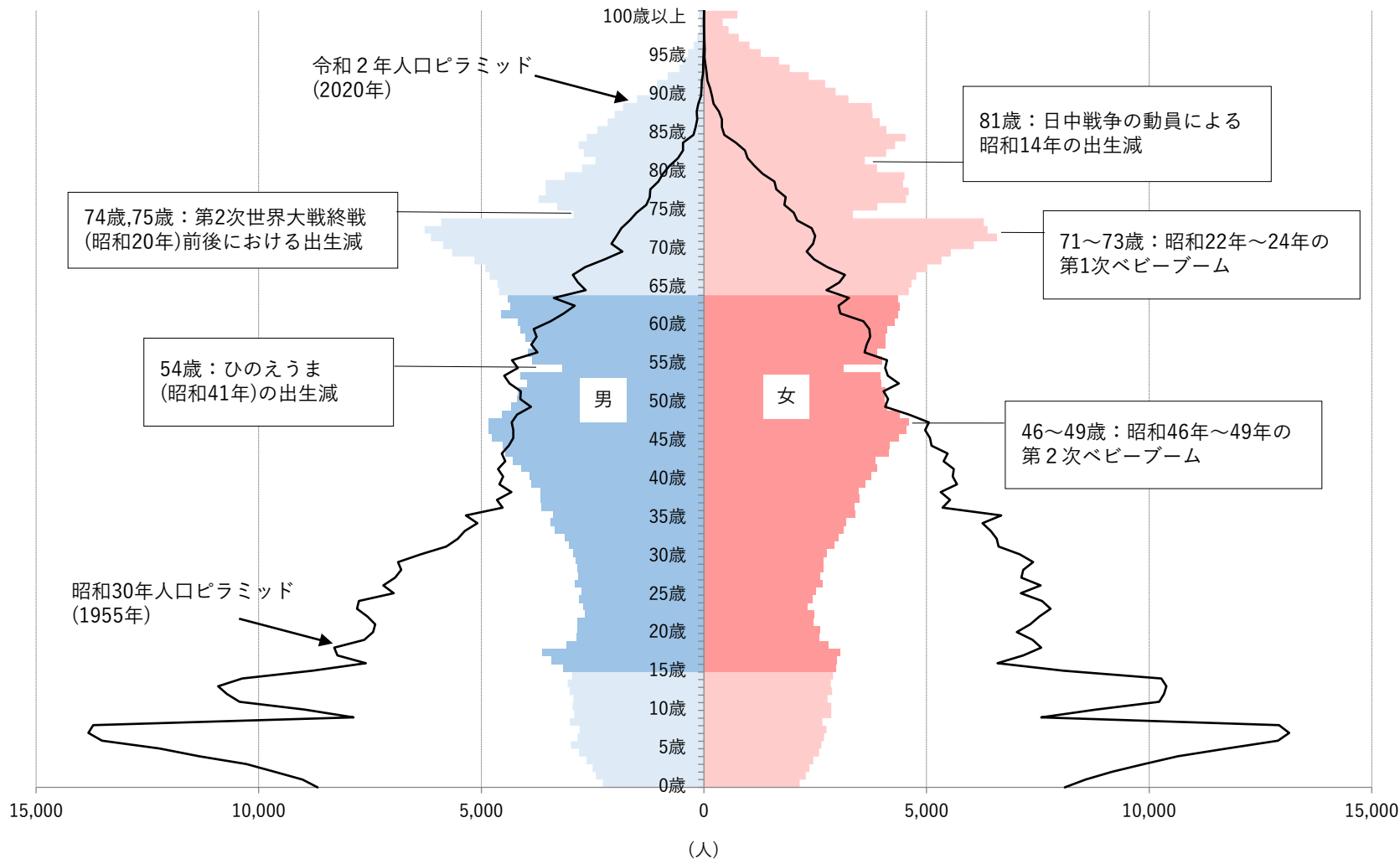
# 人口 人口の推移①

- 県人口は、ピーク時の1955年（昭和30年）から約29%減少
- 圏域別では、出雲圏域に比べ石見圏域、隠岐圏域の減少が顕著



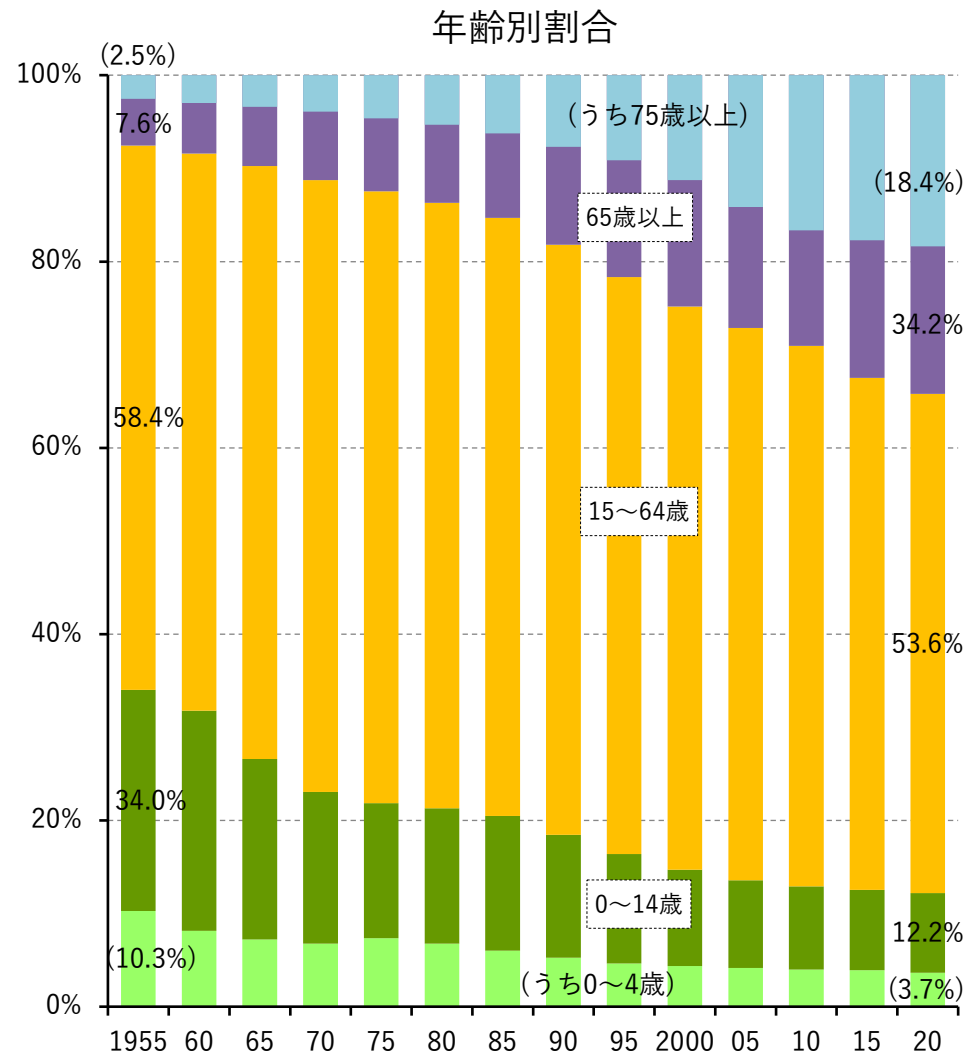
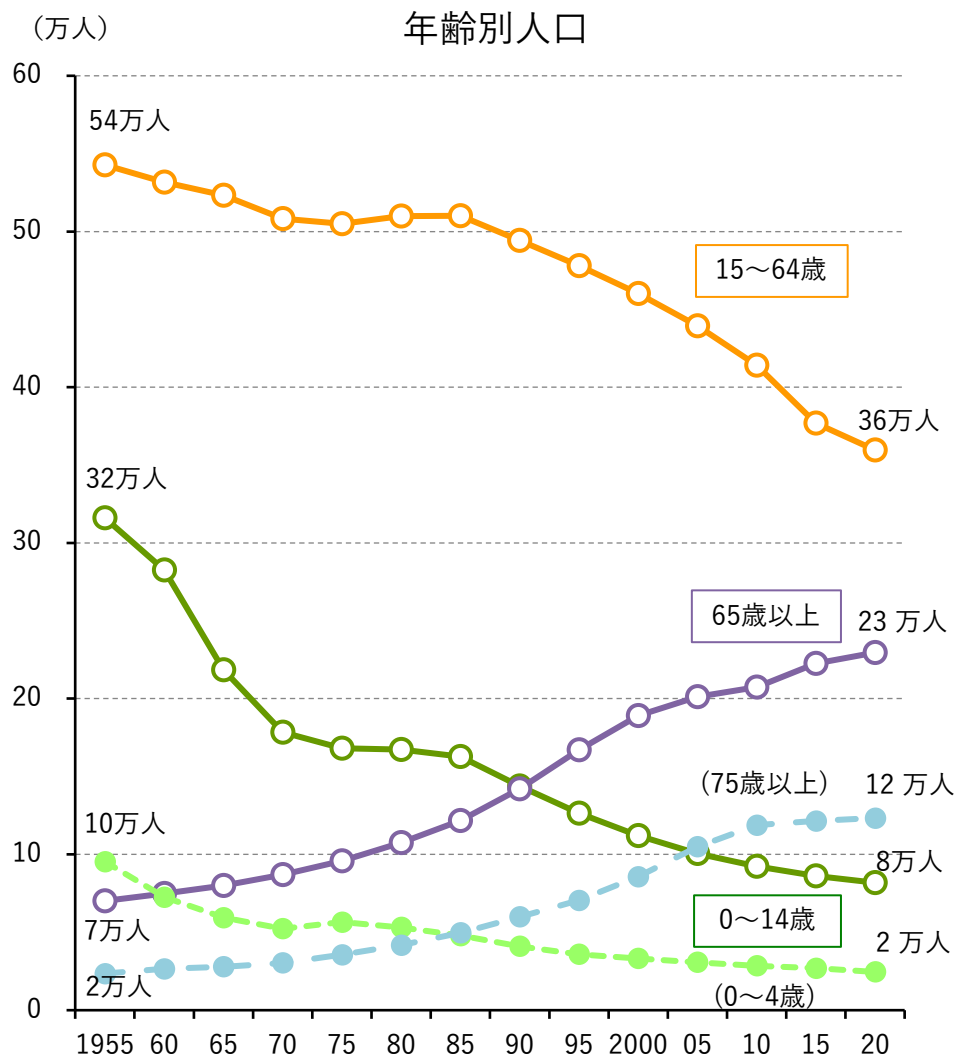
資料：「国勢調査」（総務省統計局）、2022年は「島根県人口移動調査」（島根県統計調査課）〔各年10月1日現在〕

- 少子・高齢化が進行し、人口ピラミッドの構成も変化



# 人口 人口の推移③

- 3人に1人が高齢者で、5.4人に1人が75歳以上



資料：「国勢調査」（総務省統計局）〔各年10月1日現在〕

（注）年齢別割合は、2015年までは分母となる総数から年齢不詳を除いて算出している。2020年は不詳補完値を基準として算出している。

# 1. 公民館を核とした地域を担う「人づくり」

県内公民館(令和5年4月1日現在)

307館のうち — 職員が常駐しているのは287館

— 首長部局が所管しているのは182館

(59.3% / 分館については浜田市の9館)

中央 公民館	公民館	コミュニティ センター	交流 センター (中央含む)	まちづくり センター	地域コ ミュニ ティ交流 センター	分館
9	104	43	57	54	20	20

※首長部局所管 182館

コミュニティセンター43館 中央交流センター・交流センター57館

まちづくりセンター53館(川本除く) 地域コミュニティ交流センター20館 分館9館

# 〈公民館の取組〉

中学生 & 高校生が主役

～私たちの「ふるさとづくり」～

【松江市玉湯公民館】



たまゆメンバーズくらぶ〔通称:たまめん〕H19.9月 結成

# 〈たまゆメンバーズくらぶの概要〉

## たまゆメンバーズくらぶ（通称:たまめん）

玉湯町の青少年が互いに親睦を図りながら、地域の方々とともにまちづくりに関する事業を企画・実行または補助し、**地域活性化**と**自己実現**を目指すボランティアグループ

### 【構成】

玉湯町の高校生・学生を中心とした青少年

会員数116名（令和5年10月現在）  
（中学生2名、高校・大学生8名）

1回あたりの参加会員数  
約20名





# 〈たまめんの活動理念〉

自分たちが楽しみながら、地域貢献、自己実現の機会にする

たまめんの  
「3つの柱」  
  
(活動理念)

みんなど  
仲良しな  
取り組も  
率先して

地域に必要と  
されるため  
をつくる  
をたまめん

地域に貢献して  
元気を与えよう



毎月開催している例会では、事業の企画運営や事業の反省などについて話し合います。  
趣味特技を活かして地域を盛り上げようとメンバーからの発案でダンスやバンドなどもしています。

# 〈新たな動き〉

たまめんが大人に。新グループ始まります。

その名も・・・



**T-ails**  
(テイルズ)

たまゆメンバーズくらぶの人数もかなり増えてきました。  
 その中で初期から活動しているメンバーはかなり大人に、  
 高校生主体のボランティアグループの「たまゆメンバーズくらぶ」  
 としての活動だけでなくもっと自分たちに来ることがあるのではないかと、  
 たまめんをサポートしながら新しいイベントや研修を開催していきたい、  
 そんな思いでできたグループです。

**名前の意味**

この名前に3つの意味をこめました。  
 1つ目がたまゆ・たまめんのT  
 2つ目が翼・羽ばたくの ailes  
 3つ目が英語の yell

玉湯・たまめんのT  
 そして元々のロゴである雁島のイメージから  
 翼から羽ばたくと連想しました。  
 羽ばたくをフランス語で ailes エール  
 これに英語の yell を掛け合わせ  
 てたまめんを応援する、  
 サポートするという意味も込めています。

**リーダーのコメント**

こんにちは、T-ails (テイルズ) のリーダーをさせていただきます下山真実と申します。たまめんとして最初に活動に参加したのは中学2年生の時でした。そしていつの間にか現在26歳になり少しずつですが成長させてもらっています。この玉湯町という大切な場所で色々な人に人間としても育てて頂いたなと思っています。たまめんとしてはもちろんですがT-ails としてもっと玉湯町に貢献出来るように頑張っていきます。このロゴマークを見たらたまめん共々応援して頂ければと思います。

メンバー紹介



- ヨシマサです *抱腹絶倒*
- フミトです
- リナです *いつも楽しく*
- イヨです *好きこそ敵なし*
- テッペイです
- コウスケです



将来の進路の決め方が分からない!!

夢や目標を実現するにはどうすればいいの?

私たちとおしゃべりしてみよう!



**『たまゆしゃべり場』**  
 ~地元の先輩たちと自分の将来について考えてみよう~

【日時】 11月27日(土) 9:45~11:00 (受付 9:30~)

【会場】 松江市玉湯公民館

【対象】 玉湯学園9年生

【定員】 21名 (超えた場合は抽選となります)

**参加無料**      **マスク着用が  
必要です**

**主催: T-ails (テイルズ)**

たまゆメンバーズくらぶのサポートメンバーとして今年8月に結成しました。ネーミングには、たまゆ&たまめんの「T」、翼&羽ばたくの「ailes」、英語の「yell」という意味が込められています。



# 2. ふるさとと教育



しまねの  
**ふるさとと教育**  
“ふるさと”しまねを学びの原点に

しまねに学ぶ しまねに育つ

ふるさと発!  
ワクワク・ドキドキ体験!

島根県教育庁社会教育課



H17年度～ 県内すべての公立小中学校の全学年・全学級で実施

学校・  
地域で

地域の特色を活かした体験活動でたくましく成長！  
地域のひと・もの・ことから愛着・誇り・貢献意欲とともに  
幅広い学力・実行力を育む！



子どもたちに 知って欲しいこと 身に付けさせたい力

地域の“ひと・もの・こと”



島根県で大切にしてきたこと 今後も大切にしていきたいこと

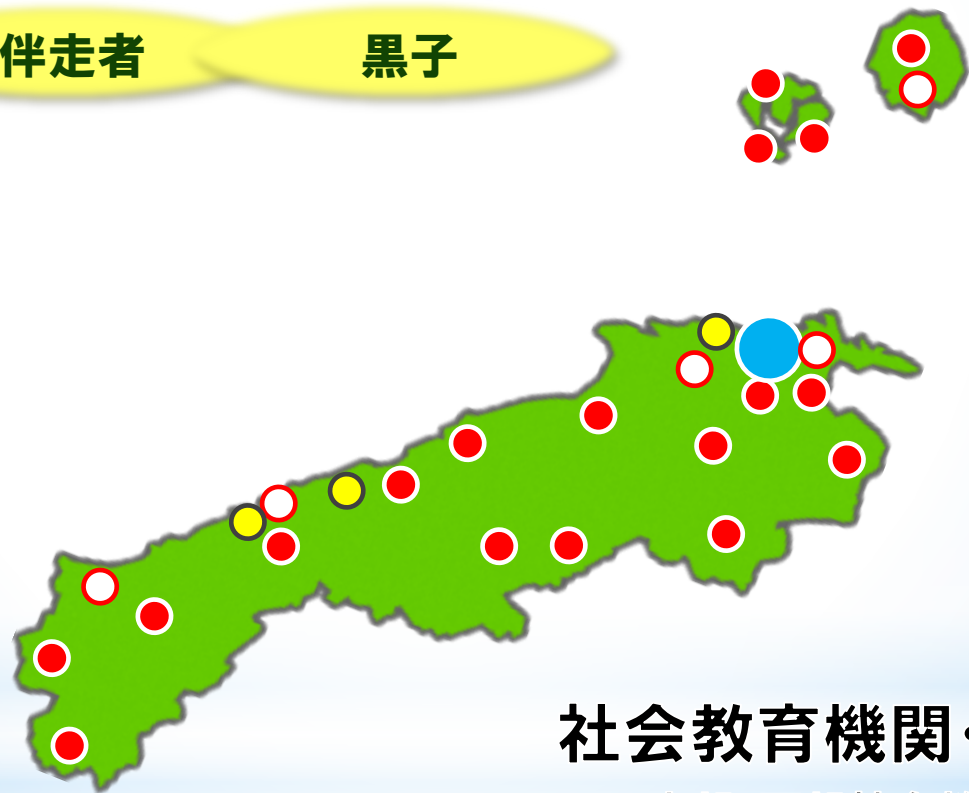
# 3. 社会教育主事派遣制度

派遣社会教育主事 **23** (18市町村に派遣)

パートナー 伴走者 黒子

教育庁 **9**  
社会教育課  
保健体育課  
人権同和教育課

教育事務所 **5**



## 社会教育機関・施設

東部・西部社会教育研修センター **6**  
青少年社会教育施設 12

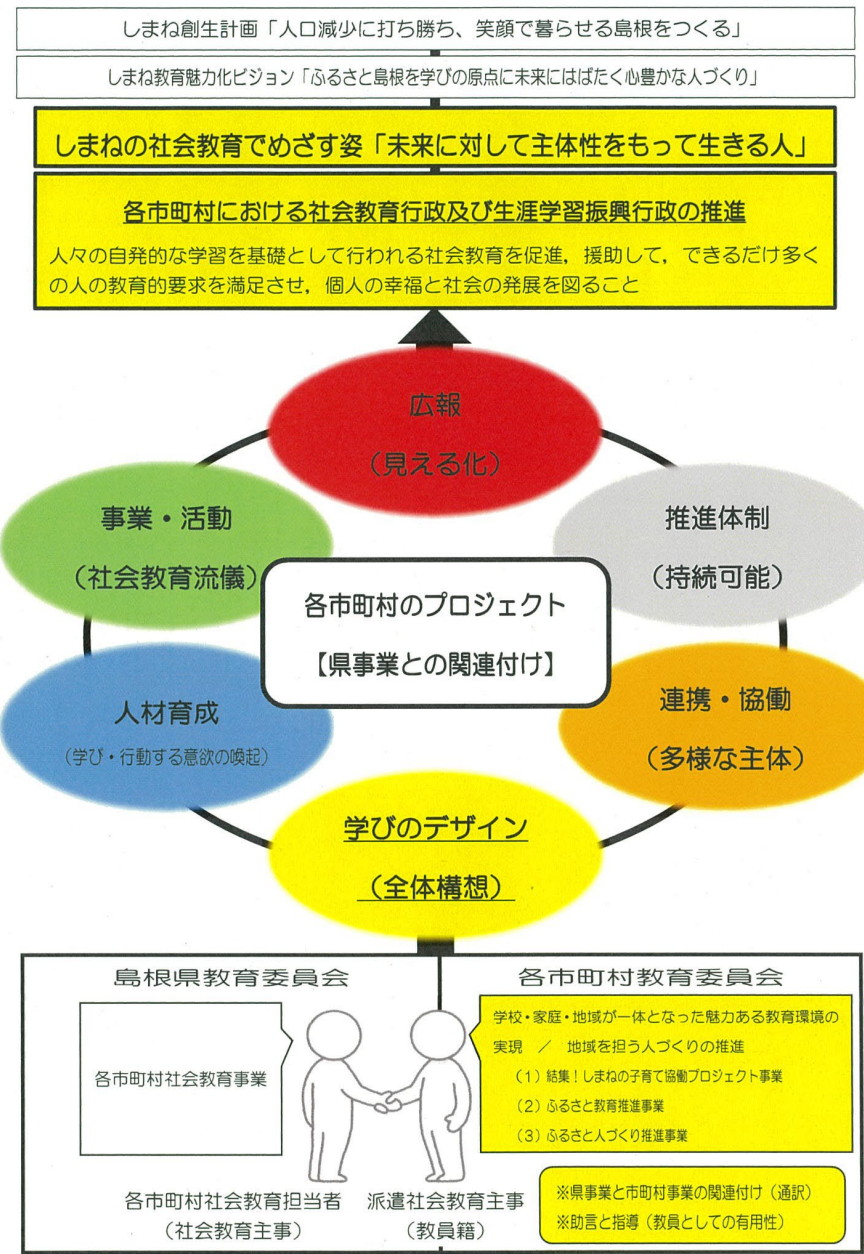
※国の社会教育施設への派遣 2名

県の社会教育主事57名

# 市町村任用社会教育主事

36

## 全市町村（19市町村） R5.4.1



# 活動を起こせ！

県民の日常生活「活」に普段ない「動」き **を**起こせ！

社会教育のシステム

達成感

社会教育者  
リーダー  
保護者

アシスト

活動

向上心

学びの  
サイクル  
(自転)

満足感

欲



社会教育者とは、活動の起こし人

# 4. 社会教育にかかる人材養成

## 県立東部・西部社会教育研修センター 事業の4つの柱

① 人材養成研修 [対象者別研修・全体研修]

② 調査・研究 [学習プログラムの開発・普及]

③ 情報提供・学習相談

④ 市町村支援



# ①人材養成研修 [対象者別研修・全体研修]

島根県では 社会教育関係者に求められる資質・能力を …

コーディネート  
力[つなぐ]

コミュニケーション  
力[かかわる]

企画・立案  
力[うみだす]

プレゼン  
テーション  
力[つたえる]

ファシリテート  
力[ひきだす]

## ②調査・研究 [学習プログラムの開発・普及]

### “しまね学習支援プログラム”の開発と普及

- 社会教育関係者が活用できる参加型学習プログラムの開発
- プログラムの効果的な活用と普及

### 社会教育関係の調査・分析

- 県内公民館等の現状、実態の調査・分析
- 社会教育にかかわる研修状況の調査・分析

親学

『しまね

学習支援

プログラム』

プログラム



# 2つの「親学プログラム」

しまね学習支援プログラム  
家庭教育支援を行う人のための

## 親学プログラム

語り合う  
親同士が  
つながる

- ★平成19年度から開発
- ★平成23年度 今の形に
- ★すでに 県内で活用/普及

**“「親学プログラム」”**

島根県立東部社会教育研修センター  
島根県立西部社会教育研修センター

しまね学習支援プログラム  
家庭教育支援を行う人のための

## 親学プログラム2

[実施版]

つながる  
“親の力”  
“地域の力”  
親と地域が

- ★平成25年度から開発
- ★平成27年度 完成
- ★セットで 活用/普及

**“「親学プログラム2」”**

語り合う  
島根県教育委員会

「親学プログラム」・・・参加型の学習プログラム

## 1 アイスブレイク

簡単なゲーム等⇒気持ちやからだをほぐす

⇒参加者同士関係を和らげる。

## 2 中心のワーク

“気づき”を促す参加型学習

## 3 ふりかえりとわかちあい

感想交流⇒意識変容、行動変容を図る。

## 4 まとめ

ポイント整理 “気づき”



互いに



楽しく

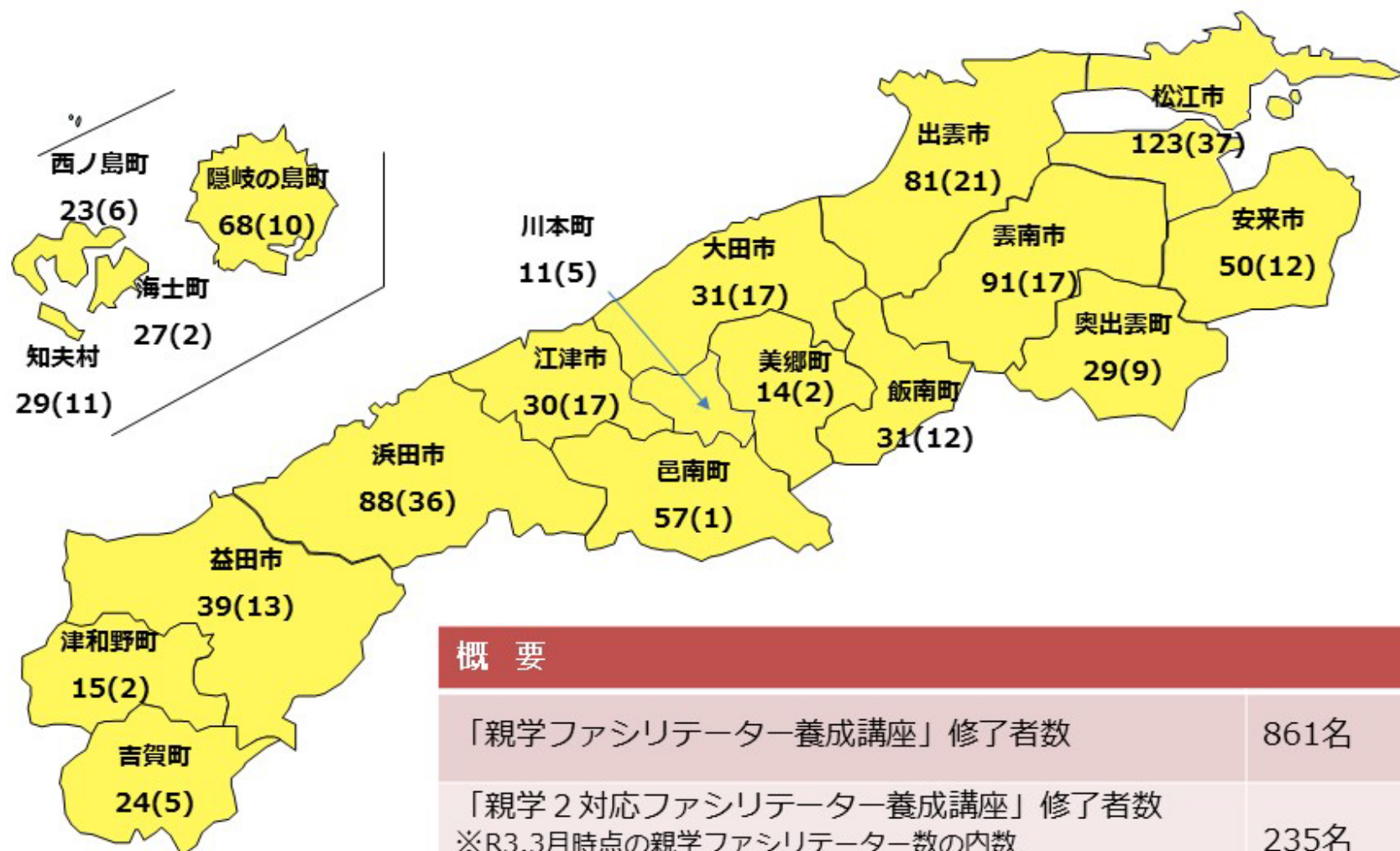


体験的に



# 「親学ファシリテーター養成講座」修了者数(R5.3現在)

※カッコ内は「親学プログラム2に対応した親学ファシリテーター養成講座」修了者数（内数）





## 家庭教育支援事業（親学プログラム・親学ファシリテーター活用）の実施状況

	親学プログラムを活用した研修会数〔回〕										
	県	市町村									
	H22～25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
<b>計</b>	<b>574</b>	<b>170</b>	<b>235</b>	<b>220</b>	<b>185</b>	<b>183</b>	<b>167</b>	<b>65</b>	<b>55</b>	<b>75</b>	<b>1,929</b>

	研修参加者数（延べ）〔人〕										
	県	市町村									
	H22～25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
<b>計</b>	<b>15,909</b>	<b>4,890</b>	<b>6,266</b>	<b>5,935</b>	<b>4,523</b>	<b>4,797</b>	<b>4,909</b>	<b>1,224</b>	<b>936</b>	<b>1,399</b>	<b>50,788</b>

H22～24	県による親学ファシリテーター養成及び派遣開始
H25～	<u>市町村が実施主体となり、ファシリテーター養成、親学プログラム・親学ファシリテーターを活用した研修を実施</u>
H26～	「親学プログラム2」の試行実施、親学プログラム2に対応できるファシリテーターの養成
H27	「親学プログラム2」実施版完成
H28～29	親学プログラム2対応親学ファシリテーターブラッシュアップ研修、親学プログラム体験講座の実施
H30～	親学プログラム体験講座を市町村支援へ移行

# 「地域**魅**力化プログラム」

「地域づくりに主体的に参画する人づくり」を支援、  
推進するために、社会教育関係者が活用できる参加  
型学習の手法を用いた学習プログラム



★平成28年度から開発

★平成29年度・・・ 試行版完成

ファシリテーター養成講座開始

★平成30年度・・・ **完成**

★そして、普及へ

# 期待される効果

- 参加者の意識や行動が変化する
- 何かをつくり出そうとする動きが出る
- 新しい人間関係や  
新しいつながりが生まれる



## ③情報提供・学習相談

### 情報紙“しまね社会教育だより”の発行

- 社会教育関係者への情報提供・意欲の向上
- 県内の地域力の醸成



### ホームページ・メールマガジンでの情報発信

- センター事業の積極的な発信
- 各種実践事例の紹介・情報提供



## ④市町村支援

### 市町村における社会教育施策の充実・推進

- 市町村等が主催する事業・研修・会議への助言や情報提供

### 市町村等の社会教育関係者の人材養成

- 市町村等のニーズに応じて、講師、ファシリテーター、支援者等の役割を果たす

# 5. 社会教育主事(士)のネットワーク化

## ■現状

### 講習

### 修了後のつながり

島根大学  
社会教育  
主事講習

伴走者のための  
共学共創  
コミュニティ

広島大学  
社会教育  
主事講習

派遣社会教育主事等  
のネットワーク

国社研  
社会教育  
主事講習  
(B講習)

市町村ごとの  
公民館等職員  
ネットワーク

## ■ネットワーク構築イメージ

### 全県

「しまねの人づく  
り実践大交流会」  
(仮)

全県の  
社会教育士  
ネットワーク

※社会教育課  
を中心として  
※社会教育研修C  
の研修も活用

### 教育事務所(5)

「社会教育主事(士)等  
研修」

各教育事務所の  
社会教育士  
ネットワーク

※各教育事務所の社会教育  
スタッフ調整監・企画幹  
を中心として

### 市町村(19)

各市町村の  
社会教育士  
ネットワーク

「市町村単位の研修・  
情報交換会等」

※各市町村の社会教育  
担当課(派遣社会教育  
主事)を中心として

### 「社会教育士リスト」の作成(社会教育課)

- ・ R6.1.11現在 186名中 51名登録済み
- ・ 各社会教育主事講習等での「しまねの社会教育士ネットワーク」の周知
- ・ 社会教育士の連絡先収集・管理

# しまねの社会教育士ネットワーク

## 参加のご案内



しまねの社会教育士  
ネットワーク

島根県教育庁社会教育課では、様々な受講機会を経て「社会教育士」の称号を得られた皆さんが、講習の枠を超えてつながり合い、学び合うネットワークづくりをしていきたいと考えています。

そして、このネットワークでの出会いやつながり、学び合いが、皆さんの活動の一層の広がりや深まりに結びつけばと願っています。

「しまねの社会教育士ネットワーク」にご参加いただいた皆さんには、今後、県社会教育課や東・西部社会教育研修センター及び各教育事務所が主催する研修・交流会等の情報提供をさせていただく予定です。

学びをとおした人づくりとつながりづくりによる地域コミュニティの活性化、そして、笑顔あふれるしまね暮らしの実現に向けて、一緒に頑張りましょう。

**多くの皆さんのご登録を心よりお待ちしております。**



趣旨にご賛同いただける方は、右のQRコードからアクセスし、必要事項を入力ください。開いたページの上部にある「利用者登録せずに申し込む方はこちら」のボタンを押して先にお進みください。

※ご登録いただきました個人情報には上記の目的以外には使用しません。



# 【社会教育主事（士）等研修】

- 教育事務所ごとに（県内5会場）社会教育主事（士）等のための社会教育基礎研修とネットワークづくりをおこなう。

参加者：社会教育主事（士）講習修了者（社会教育士、社会教育主事有資格者）、社会教育主事（士）講習受講者、県社会教育主事、社会教育士、社会教育に興味関心がある者 等

内 容：講義、事例発表、意見交換等



R4年度 社会教育主事(士)等研修 参加者数192名



# 【しまねの人づくり実践大交流会（仮）】 〈R6年度新規〉

- 島根県内の社会教育主事・士等が一堂に会し、学びをとおしたネットワーク化を図るための交流会を開催

参加者：県及び各市町村社会教育委員  
公民館等関係者  
県内社会教育主事（有資格者を含む）及び社会教育士  
地域学校協働活動関係者  
親学ファシリテーター等家庭教育支援関係者  
各市町村社会教育担当者  
県及び市町村関係者（地域振興、防災、福祉、産業、環境 等）  
社会教育及び社会教育士に関心のある方

内 容：講演、事例発表、意見交換等  
※教育事務所ごとに開催する社会教育士等研修の拡大版として、島根県内の社会教育関係者が一堂に会し、学びをとおした全県的な緩やかなネットワーク化を図る



島根県広報誌

フォトしまね 令和5年 春号

活躍しています!  
しまねの  
社会教育士

<参考 県教委把握分のみ>

社会教育士養成数(R2~R4)

**186名**

教員籍26名、公民館等職員79名

県教委4名、県首長部局7名

市町村教委29名、市町村首長部局5名

コーディネーター11名

民間等その他25名

### “人づくり”をデザイン “つながり”をコーディネート

# 活躍してます！ しまねの社会教育士



私たちの住むまちや暮らしにあるさまざまな課題。その課題の解決に向けて、地域に暮らす皆さんを支えるのが「社会教育士」です。そんな「社会教育士」という称号をもつ方々が、多様な場所や場面で活躍しています。

### 現場の実践例1

## 化学反応を生む出会いが、地域を創る人づくりに

大地本 由佳さん

浜田市 浜田市教育委員会 魅力化コーディネーター



高校生と談笑する大地本さん

大地本さんは学校と地域をつなぎ、古里・浜田の高校生と大人が学び合う機会をつくらせています。

取組の一つが、高校生と地域の大人が、町の将来像や自分の生き方を考える「まちぞろーく」。高校生と大人それぞれ100人以上が参加し、「住む町の好きなお題」など、さまざまなお題で対話を重ねます。高校生は同年代との関わりだけでは学べない多様な人生観や価値観に触れ、大人も高校生から刺激を受け地域との関わり方を見つめ直すきっかけになりました。他にも、地元食材を活用して新商品を開発したい高校生と、魚食に理解を深めてほしい水産関係者をつなぐワークショップなどを企画。



「まちぞろーく」で対話する生徒と大人

**Q** 社会教育の学びを得て、変化したことは？  
**A** 以前は「おもしろそう」という直感で動いていましたが、理論を学んだことでこの活動は町のどんな未来につながるだろう？「関わる大人にとつての価値は？」と俯瞰して考え、動けるようになりました。また、これまでにさまざまな社会の動きや地域の情報にアンテナを張るようになったと思います。

### 現場の実践例2

## 多様な人が関わる心豊かな地域をつくりたい

古津 三紗子さん

雲南市 (株)Community Care コミュニティナース



地域住民と対話する古津さん

訪問看護ステーションで働く古津さんは、地域住民に自分らしく生活してもらうため、心と身体の健康サポートを軸に活動の幅を広げていきます。

住民の「やってみたい」「困っている」という声に對し、アイデアを出し合って活動を生み出し実践していく場「地域おせっかい会議」の事務局を担当。難病を患った高齢の方からの「買い物や仕事を続けたい」という思いに寄り添い、地域の事業者や住民とともに支え合う体制をつくりました。

今年春には、高齢者から学生まで多世代が集まり相互の交流が生まれるよう、高齢者サロンを拡充してシニアオフィスや学習スペース、キッチンなどを備えた居場所に刷新。多様な人々がつながり、関わり合える活動を通して、住民が心豊かに暮らせる地域づくりを目指しています。



「地域おせっかい会議」に集まった住民

**Q** 社会教育士の講習から学んだことは？  
**A** 活動に関わる人と良好な関係性を築き、やる気を引き出すことや多様な人を活動に巻き込んでいく重要さを学びました。自分ひとりで活動を抱え込みすぎて、身動きが取れなくなる、といったことが少なくなつたように感じます。また、長期的な視点で活動を組み立て、持続可能な仕組みにしていく意識が生まれました。

### 社会教育士の活動の場

- (県内の事例)
- ・公民館、コミュニティセンター等の職員
- ・学校の教職員
- ・学校と地域をつなぐコーディネーター
- ・役場の職員
- ・地域づくりにかかわるNPOの職員
- ・地域医療・地域福祉の関係者
- ・教育、人材育成系の企業 など

社会教育士についてもっと知りたい方はこちら➡



### 社会教育士になるには？

社会教育士の称号は、文部科学省から委嘱を受けた実施機関が行う社会教育主事講習を修了する、または養成課程を置く大学で必要単位を修得することで得られます。講習は、オンデマンド講義、オンライン講義・演習、集合型の講義・演習を組み合わせて行われます。県内では以下の講習を受講できます。

■ 島根大学社会教育主事講習

会場 島根大学(松江市)

開講時期 7月～1月(平日夜間と週休日)

■ 社会教育主事講習B (社会教育実践研究センターが行う講習を遠隔受講)

会場 県立東部社会教育研修センター(出雲市) 県立西部社会教育研修センター(浜田市)

開講時期 1月～2月(平日日中)